

令和元年度 第1回秋田県立図書館協議会（要旨）

1 日 時 令和元年10月4日（金）午後1時30分～午後3時30分

2 場 所 秋田県立図書館 3階 多目的ホール

3 出席者

委 員 小野崎委員、菊池委員、小林委員、小松田委員、清水委員、
関委員、富岡(朝)委員、富岡(美)委員、平川委員、渡部委員

事務局 教育庁生涯学習課 社会教育・読書推進班 中山副主幹
図書館 高橋館長、吉田副館長、京極副館長、福田主幹、
中塚総務班長、小野企画・広報班長、成田図書資料班長、
嵯峨情報班長、菅原サービス班長

4 議事概要

(1) 開会

(2) 委員紹介

(3) 事務局職員紹介

(4) 図書館長あいさつ

(5) 報告

①令和元年度の活動状況について〔資料により説明：高橋館長〕

②図書館評価アンケートの結果について〔資料により説明：吉田副館長〕

(6) 協議

①秋田県立図書館への要望・提言等について

〔各委員から報告事項に対する質問等を含めて発言〕

(発言者：■委員 □事務局)

■利用者アンケートの実施期間が9月で子供たちが夏休みではない時期だが、10～20代の利用者の動向はどうか。

□10～20代の利用者は主に学習で図書館を利用することが多い。本の貸し出しについては60代の方の利用が増加傾向である。

■喫煙所についての今後の意向について聞きたい。

□喫煙所に関しては苦情が複数寄せられているが、周りの施設に喫煙所が少なく、撤去してしまうと路上喫煙等が増えてしまう可能性がある。利用者の意見を聞きながら様子をみて判断していきたい。

■図書館の堅い雰囲気には遠慮して、本の在処等を聞きづらいという声をよく聞く。もっと音があると職員に声をかけやすくなるのではないか。利用者がもっとおしゃべりをしてよいスペース等を設けてみてはどうか。

□閲覧室が静か過ぎると、雰囲気の堅さを感じる方もいると思う。1階のエントランスホールを全面的に飲食スペースに出来ないか検討中である。

- 図書の購入費については、どこの市町村も縮減している傾向にある。予算要求のために他の図書館の動向や、必要な資料費についてもっと情報が欲しい。
- 県の総合政策課で各市町村の資料費の確保への情報提供がされているのでそちらを活用していただきたい。
- 毎週水曜日の休館について、利用者の反応はどうか。また、サービスはどう変わったか。
- 予想よりは少ないが、毎週水曜の休館は困るという意見はある。休館により時間が増えたことで、市町村と学校への支援や研修会、イベントの開催が多く展開できており、有効活用できていると考える。
- 受けられるサービスを知らない方々も多いと思う。もっと図書館のサービスを知ることができる活動が欲しい。
- 高校の図書館活動を県立図書館がもっと広報してもらいたい。学校図書館報をエントランスホールで展示してもらっているが、秋田市以外の県北、県南の図書館でも展示できるように県立図書館が中心になって動いていただきたい。
- 図書館を首長部局に移管できるようになったとの話があったが、県立図書館の考えを聞きたい。移管すると予算が増えるなどということはあるのか。
- 所管が知事部局にあると、地域振興と連携した事業を行いやすいと思うが、秋田県では移管について議論はなされておらず、当館としては図書館は教育委員会の所管で、生涯学習・学校教育活動に資するべきだと考えている。
- 横断検索についてはとても重宝しているが、自宅のパソコンで出来ないか。必要な情報があれば申し込みについても紙を使わずに出来るのではないかと考える。
- 他の図書館にある本について調べることはインターネットで検索可能だが、申し込みについては、県立図書館で持っていない本を、買うのか、他から借りるのか申込者としてしっかり面談して決める必要があるため、自宅だけで完結できない形となっている。
- 図書館・生涯学習課として、特別支援学校に在学中だけではなく、卒業した後の人々への支援サービスについても開拓をしていってほしい。
- 配布資料の内容について初めて知る内容のことが多い。広報活動をもっと工夫すると参加する県民もっといるはずである。
- 利用者アンケートについて結果は公表する予定はあるのか。公表することで利用者の理解が得られることもあると考える。
- アンケート結果は、図書館報で公表したいと考える。

(7) 閉会